

2023 年度 糖尿病重症化予防（フットケア）研修会

目 的：糖尿病患者へのフットケアの意義を理解し、評価方法と技術を身につける。

- 目 標：1. 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する。
 2. 糖尿病患者の足病変の病態生理、治療を理解する。
 3. 糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ。
 4. 糖尿病患者へのフットケアの技術を学ぶ。
 5. 糖尿病患者の事例検討を通して、フットケアにおけるセルフケア支援を理解する。
 6. 予防的フットケアを実践するためのシステム構築について考えることができる。

研修修了証：全過程を受講した者に、広島県看護協会会長名による研修修了証を交付する。

プログラム

開催日	時間	テーマ	ねらい	内容	講師
7/7 (金)	9:00 ～ 12:00	糖尿病患者の療養を支えるフットケア	患者の糖尿病や足の状態を捉え、セルフケアのアセスメントも含めて、継続的に実践するセルフケア支援のプロセスを理解する。 フットケアの意義を理解する。	・足への関心 ・足の状態を共通理解するための働きかけ ・患者の生活の理解 ・フットケアの継続の意義	安田女子大学/安田女子短期大学 助教 慢性疾患看護専門看護師 糖尿病看護認定看護師 佐藤果苗
	13:00～ 16:00	糖尿病患者の足病変～病態生理から治療まで～	糖尿病患者の病態生理、治療を理解する。 合併症、足病変を理解する。	・糖尿病患者の足病変の病態生理、治療等	JA 広島総合病院 院長 石田和史
7/8 (土)	9:00～ 10:40	フットケアのためのアセスメント	足病変予防のための足の状態、生活状況、セルフケア状況を理解し、患者のリスクの評価を考える。	・足の状況 ・全身状態 ・生活状況 ・セルフケア状況	糖尿病看護認定看護師 (ファシリテーター6 人)
	10:50～ 11:30	フットケアの方法(デモスト)	器具等を実際に使って行う方法を学ぶ。	デモンストレーション	
	11:30～ 12:30	フットケアの実際 演習①予防のためのセルフケア支援	糖尿病患者のフットケアのための評価方法を学ぶ。	二人一組で、足の観察を行い、実際の評価方法を学ぶ。	
	13:30～ 16:00	フットケアのための評価方法 演習②事例のアセスメント	患者の状況やリスクの評価をもとに患者に適したフットケアの実践ができ、セルフケア支援につなげることができる。	足病変予防の方法 ・足病変悪化予防の方法 ・セルフケア支援の方法 ・事例のアセスメントを行う(グループディスカッション) グループごとに発表	糖尿病看護認定看護師 (ファシリテーター6 人)
7/9 (日)	9:00 ～ 12:00	フットケアの実際(講義・デモスト) 演習③フットケアの技術	フットケアの技術を学ぶ。	デモンストレーション ゾンデ・ニッパーなどの器具等を実際に使った演習 二人一組で行う	糖尿病看護認定看護師 (ファシリテーター6 人)
	13:00～ 15:00	事例分析と評価(事例紹介) 演習④ケア計画の立案・まとめ	患者に合わせた具体的な計画の立案ができる。	ケア計画の立案、発表、評価 (グループディスカッション) グループごとに発表	糖尿病看護認定看護師 (ファシリテーター6 人)
	15:10～ 16:00	フットケアの評価と今後の課題(講義) 演習⑤自施設でのフットケア活動計画の立案	自施設でフットケアを実践するための方略を考え、予防的フットケアを実践するためのチーム医療やシステム作りを考える。	自施設における今後のフットケア活動計画の立案	糖尿病看護認定看護師 (ファシリテーター6 人)

ファシリテーター(糖尿病看護認定看護師)6 人: 佐藤果苗(安田女子大学/安田女子短期大学)、加賀美昌美(JA 広島総合病院)、貞安妙美(JA 尾道総合病院)、庄子千鶴満(原田病院)、頼本奈々(東広島医療センター)、中元美恵(JA 広島総合病院)